



JAPIC NEWS

<http://www.japic.or.jp>

31 JAPIC

JAPIC

DI

Q A

2003

JAPICDOC

10

2003

JAPIC-Q

JAPICDOC

ADVISE

11

15

JAPIC-Q

12

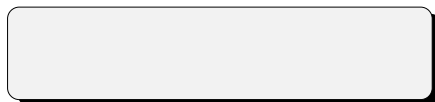
13

No.153

14

16

17



「第 31 回 JAPIC 医薬情報講座」の開催

(旧名称「DIのための情報基礎講座」)

日 時 : 2003 年 3 月 6 日 (木) ~ 7 日 (金) 2 日間 (毎日 10:00 ~ 16:20)

テ ー マ : 「薬事法改正と医薬情報」

場 所 : 日本薬学会長井記念ホール (東京都渋谷区渋谷 2-12-15)

<プログラム>

3 月 6 日 (木) - 1 日目「薬事法改正をめぐって」

日 時	演 題 ・ 講 師
10 : 00 ~ 10 : 05	理事長挨拶
10 : 05 ~ 11 : 00	「薬事法改正の実施に向けて」 厚生労働省 医薬局審査管理課医療機器審査管理室室長 北條 泰輔 先生
11 : 00 ~ 12 : 00	「厚生労働省の治験推進施策」 厚生労働省 医政局研究開発振興課課長補佐 別井 弘始 先生
12 : 00 ~ 13 : 00	(昼 食)
13 : 00 ~ 14 : 00	「医療機器の GCP と世界の動向」 東レ(株)常任理事・医薬医療開発センター所長 上野 紘機 先生
14 : 00 ~ 15 : 00	「生物由来製品、ウイルスを巡る話題」 国立医薬品食品衛生試験所 遺伝子細胞医薬部部长 山口 照英 先生
15 : 00 ~ 15 : 20	(休 憩)
15 : 20 ~ 16 : 20	「細胞・組織利用製品および再生医療産業の現状」 東京女子医大 先端生命医科学研究so講師 大和 雅之 先生

3月7日（金） - 2日目「市販後調査と医薬情報」

10：00～11：00	「医薬品情報支援システム（OKISS）とPMS」 社団法人 大阪府薬剤師会副会長 中西 光景 先生
11：00～12：00	「PMSと病院における医薬品情報の収集・提供」 北里大学病院薬剤部副部長 佐川 賢一 先生
12：00～13：00	（ 昼 食 ）
13：00～14：00	「日本薬剤師会のDEMとPMS」 社団法人 日本薬剤師会常務理事 七海 朗 先生
14：00～15：00	「卸とPMS支援」 (株)クラヤ三星堂 薬事情報部 PMS グループマネジャー 増永 陵一 先生
15：00～15：20	（ 休 憩 ）
15：20～16：20	「副作用情報収集」 万有製薬(株) 安全性情報部次長 野口 茂 先生

問い合わせ先

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 長井記念館 3 階
 （財）日本医薬情報センター（JAPIC）事務局業務担当
 TEL.03-5466-1812 FAX.03-5466-1814



手のひらサイズの電子医薬品情報「JAPIC ポケット DI」

このたび、医薬品の添付文書情報を手軽に検索いただけるよう手のひらサイズ電子医薬品情報「JAPIC ポケット DI」を開発し、平成 15 年 2 月末に試験的に発売いたしました。市販の PDA（携帯型情報通信端末）を使って利用できますので、場所を取らず持ち運びに便利です。キーワードを入力し、該当した情報から、効能・効果、副作用など知りたい情報をスピーディに表示できます。

平成 15 年 12 月までを試験的な発売期間といたします。

(1)情報源

医療用医薬品添付文書（約 12,300 枚）からデータ作成されています。

薬価基準収載品のほか、医療現場で使われている医療用医薬品はほぼ網羅的に収録されています。

(2)収録データ内容

添付文書上のすべての項目と薬価が収録されています。

（グラフ、化学構造式等の図形の入力は省略しています。）

(3)データ更新頻度

データは毎日更新していますので、常に最新のデータにアクセスすることができます。

(4)アクセス方法

NTT ドコモのモバイルマルチメディアサービス M-stage(エムステージ)を利用してアクセスします。ご利用にあたっては、別途、NTT ドコモとの契約のほか、M-stage に接続可能なデータ通信カード、インターネットブラウザを搭載した PDA が必要となります。

詳細につきましては、下記 URL をご参照ください。

http://www.nttdocomo.co.jp/p_s/infogate/

一部、電波等の関係で使用制限される場合があります。

(5)利用料金（平成 15 年 12 月まで）

JAPIC 会員

年 会 費 ： 無料

利 用 料 ： 500 円 / 月

特定データ利用会員

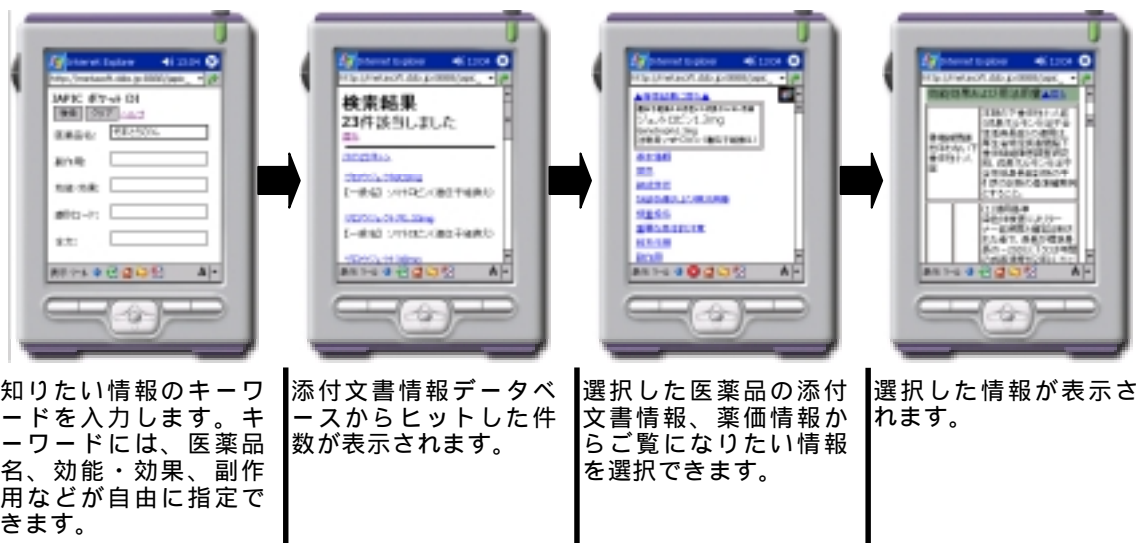
年 会 費 ： 5,000 円

利 用 料 ： 2,000 円 / 月

上記以外に、M-stage 接続料金（基本額）通信料金等がかかります。

「特定データ利用会員」とは、これまでの「JAPIC 会員」以外で、「JAPIC ポケット DI」を利用する 医療機関等、または 医療機関等に従事する個人の利用者をいいます。

(6) 検索画面イメージ



(7) 導入例

ドクター 院内医薬品集として利用できます。冊子体を印刷する手間が省け、いつでも最新の添付文書データを見ることができます。

製薬企業 MR、医薬品卸 MS

戦略ツールの一つとして広く利用することができます。ドクターからの問い合わせにも即時対応することができます。

保険薬局 服薬指導を強力にサポートできます。いつでも最新の情報を提供することができます。

お問い合わせ、利用のお申込みは下記まで ...

(財)日本医薬情報センター (JAPIC) 事務局
Tel.03-5466-1812 Fax.03-5466-1814

「JAPIC ポケット DI」利用（契約・解約）申込書

（財）日本医薬情報センター（JAPIC） 行

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷 2-12-15 長井記念館 3F

下記の【ご契約条件】に同意した上で、「JAPIC ポケット DI」の利用を申し込みます。

財団法人日本医薬情報センター 事務局業務担当

Fax:03-5466-1814 / Tel:03-5466-1812

太線枠内をご記入下さい。

ご契約者の区分		☐ 個人 ☐ 法人	
お申込年月日		平成 年 月 日	
(フリガナ) ご契約者名		印	
ご契約者住所		〒	
ご契約者勤務先 (ご契約者が個人の場合のみ記入)			
ご連絡先	ご担当者名 (ご契約者が法人の場合のみ記入)	ご担当部署名 (ご契約者が法人の場合のみ記入)	
	電話番号	F A X 番号	

ご利用回線の有無	☐ 有り ☐ 無し
----------	---

NTT ドコモの M-stage に接続可能な回線（PHS・携帯電話・FOMA（ポケット・64K データ通信）・DoPa）以外ではご利用できません。

サービス利用回線の番号をご記入ください。（記入欄不足の場合は別紙にご記入下さい）別紙の有無：☐ 有り ☐ 無し

No	ご 契 約		ご 解 約	
1	0	0 -	0	0 -
2	0	0 -	0	0 -
3	0	0 -	0	0 -
4	0	0 -	0	0 -
5	0	0 -	0	0 -

【ご契約条件】

「JAPIC ポケット DI」は、NTT ドコモの通信サービス以外ではご利用いただけません。

予め M-stage に接続可能な PDA をご準備ください。詳細につきましては、下記 URL をご参照ください。

http://www.nttdocomo.co.jp/p_s/infogate/

ご契約：本申込書を受付後、年会費（JAPIC 会員は免除）の請求書を発行させていただきます。請求書に同封の振込用紙、または当センター指定の銀行口座に速やかにお振り込みください。（入金後の返金はできませんので予めご了承ください）

当センターで年会費入金の確認後、NTT ドコモから M-stage、NTT ドコモの通信回線のご契約等、お客様へご連絡させていただきます。

ご解約：本申込書にて承ります。なお、ご解約のお申込みを当月 1 日～25 日にされた場合は当月末日、当月 26 日～31 日にされた場合は翌月末日でのご解約となります。（ご解約お申込み日とは申込書が当センターに到達した日のことをいいます）

（JAPIC 記入欄）

会員区分	☐ 会 員 ☐ 特定データ利用会員			
会員種別	☐ A 会員 ☐ B 会員 ☐ C 会員 ☐ D 会員 ☐ E 会員 ☐ F 会員 ☐ 賛助会員			
特記事項				
事務局	申込書受日	入金確認日	登録連絡日	登録完了受日

会員サービスQ & A（その2）

JAPIC では直接、会員のみなさまの所へご訪問の機会に、ご提供しております各種サービスについてご要望等をお伺いしております。しかし、人員に限界があり、全会員の方からお伺いできていません。これを補う目的で年2回東京・大阪で「JAPIC ユーザ会」を開催し、JAPIC サービスについて説明させていただき、ご質問・ご要望にお応えし、同時にアンケートでご要望を伺っております。

これらのご要望・ご質問等に対し、直接お応えしたことやアンケート記載にあったご要望等に対する JAPIC の対応策について、前回に引き続き、ご紹介いたします。

今後とも忌憚のないご意見・ご要望を是非 JAPIC 担当までお寄せ下さいますようお願いいたします。

- 添付文書関係サービス -

< 添付文書情報データベース（NewPINS） >

ご質問：検索の際、適応「高血圧」と副作用「せき」の and 検索できるというが、副作用の「せき」は発現するのかわからないのか、本文までみなければわからないのではないのか。

JAPIC：副作用の項目で限定して検索しますので副作用として「せき」が出現するものを検索してくると解釈してよいと思いますが、厳密に言えば「せき」が出現するのかわからないのか本文を見なければわからないということになります。
なお、副作用として「せき」のないものの検索を行うには NOT（#）検索をします。副作用の項目に「せき」の記載のないもの、つまり副作用として「せき」が出現しないものの検索ができます。

ご要望：添加物の項目もあるが、別名や略号でも検索できる手だてをして欲しい。

JAPIC：添加物については、日薬連等からのご要望を聞きながら平成15年度以降の事業計画の一つに考えており、添加物 DB または添加物辞書ができれば、可能になります。これにつきましてもみなさまのご協力を得たいので、よろしく願いいたします。

ご質問：「NewPINS」と「医療薬日本医薬品集」のデータの違いは何か。

JAPIC：情報源は医療用医薬品の添付文書で同じです。

一般名で一まとめに編集しているのが「医療薬日本医薬品集」で、内容も理化学的知見を除いています。

一方、個々の添付文書ごとにデータを作成しているのが「NewPINS」で、添付文書全文がデータ化されています。

< 日本医薬品集 (Drugs in Japan) 関連 >

ご要望：医薬品研究開発の基礎にかかわっており、「医療薬日本医薬品集」をよく使用している。是非、構造式を盛り込んで欲しい。

JAPIC：現在、構造式のデータ収集作業中です。「医療薬日本医薬品集」にどのような形態で盛り込めるかについては検討中です。今少しお待ち下さい。

ご要望：「日本医薬品集 DB (CD-ROM)」を活用しているが、副作用などに同義語をまとめて検索できるようにして欲しい。

JAPIC：この CD-ROM には用語辞書を搭載しておりませんので、同義語でまとめて検索できません。必要な辞書データの作成等を含め、大きな課題になっています。

< 一般用医薬品情報 >

ご要望：一般薬の情報を増やして欲しい。一般薬のデータベース化は考えているか。

JAPIC：平成 15 年度に一般薬のデータベース化を検討することにしております。

< その他 >

ご質問：添付文書関連の情報が医療薬、一般薬と 2 冊の「日本医薬品集」,「日本医薬品集 DB」, その他「NewPINS」,「JAPIC ポケット DI」,「ファルマ・アシスト」とたくさんある。これらの関係は？

JAPIC：医療薬、一般薬「日本医薬品集」は冊子体で、しかも年 1 回（一般薬は隔年）の発行です。一冊にまとめているため、手元に置きやすく利用しやすいため、多くの方にご利用いただいておりますが、情報量・鮮度に限界があります。
「日本医薬品集 DB」も年 4 回発行しておりますが、これを補完するものとして、日々メンテナンスしている添付文書情報データを盛り込んだ「NewPINS」（Web 版データベース）,「JAPIC ポケット DI」（携帯端末利用）,「ファルマ・アシスト」（医薬品適正使用支援システム）を開発いたしました。
目的・環境によって使い分けをお願いいたします。

担当窓口：JAPIC 事務局業務担当

TEL.03-5466-1812 FAX.03-5466-1814

「不正商品対策協議会 アジア知的財産権シンポジウム 2003」を聴講して

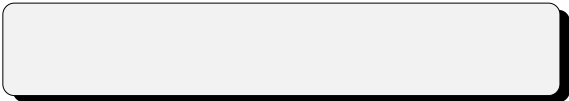
不正商品対策協議会（ACA）が主催する「アジア知的財産権シンポジウム 2003」（平成 15 年 2 月 7 日開催，日経ホール）を聴講した。このシンポジウムのメインテーマ「知財立国をめざして～アジアの混乱から秩序へ～」について、省庁関係者、弁護士、企業など様々な分野の方々の講演やパネルディスカッションが行われた。

日本では、昨年 2 月に政府に「知的財産戦略会議」が設けられ、7 月に「知的財産立国」の実現に向けた「政府の基本的な構想」として、「知的財産戦略大綱」を策定している。「知的財産戦略大綱」は、法律ルールの整備、円滑な流通の促進、国際的課題への対応、著作権教育の充実、司法救済制度の充実について提示したものであり、これを受けて 11 月には「知的財産基本法」が成立した。これは知的財産が初めて国家対策となった画期的なことであった。日本国内においては、海外から密輸入されたコピー商品や海賊版の販売が後を絶たない。また、インターネットのファイル交換ソフトを利用した音楽などの不正アップロード（公開）も増えている。ADSL などのブロードバンドの普及に伴い、映画などの映像ソフトも多数アップロードされるなど、侵害行為は多様化してきている。知的財産が侵害されるということは、次の創造物を作る資金や意欲を奪い、やがては経済崩壊ということにもなりかねない。多くの人が「安いからいいや」「タダで手に入れた方が得だ」という考えの下、違法という意識のないままコピー商品を購入したり不正アップロードをしているのではないだろうか。知的財産権侵害は犯罪であることと、経済の発展を阻害することを子供の頃からきちんと教育をしていく必要があるだろうし、今後は国家対策としてきちんと取組んでいくであろう。

日本ではインターネットでの無断送信を防止する権利を著作権者（著作権者の権利）だけではなく著作隣接権までも付与している。これは世界で日本のみであり、著作権に関しては法整備は日本は最も進んでいるといえる。しかし世界、特にアジアでは日本の知的財産がきちんと保護されていない。不正商品の製造が最も多い中国では、1980 年代から知的財産権法の整備が進められ、2001 年に WTO に加盟した。昨年不正商品に対する日本企業の告訴を中国の警察当局が初めて受理するなど、中国における知的財産権侵害事件に対する摘発・取締りも強化の一途を辿ってはいる。しかし、まだ発展途上の国であるため急激に変化するの無理である。あるパネリストの方は、「日本は戦後は先進国の商品のモノマネから始めたが、それだけでは二流の国家であることに気付いて自分達で創造するようになった。中国にも、不正商品の製造をしていたら、いつまでたっても一流の国家にならないことを根気よく教えていく必要がある」と述べていた。

今回のシンポジウムは各分野の方がそれぞれの立場で話をされていたので、文化庁著作権課長は「著作権は私権であるので権利者が自分達で動かなければならない」というのに対し、権利者側は「政府が先頭にたって権利の保護をすべきである」という、対立する本音の意見も聞くことができた。

（事務局 原 朋美）



「JAPICDOC」での海外医薬副作用文献情報の提供開始について

平成 15 年 2 月に更新する「JAPICDOC」のデータから、あらたに海外医薬副作用文献情報も加えて提供することになりました。提供を開始する海外情報は、これまで医薬品副作用文献情報データベース「ADVISE」で提供してきた情報ですが、このたび「JAPICDOC」でも国内情報と合せて検索できるようにいたしました。追加するデータの概要は下記のとおりでございますので、ご活用いただきますようよろしくお願い申し上げます。

【海外医薬文献情報の概要】

情報の範囲：副作用及び安全性に関わる海外医薬文献（ADVISE と同様の情報）

採択誌数：以下の 15 誌

N. Engl. J. Med.

JAMA

Lancet

Br. Med. J.

Ann. Pharmacother.

Eur. J. Clin. Pharmacol.

Br. J. Clin. Pharmacol.

J. Clin. Pharmacol.

Clin. Pharmacol. Ther.

Bulletin from SADRAC

Current Problems in Pharmacovigilance

Australian Adverse Drug Reactions Bulletin

Adverse Drug Reactions Bulletin

Canadian Adverse Drug Reaction Newsletter

MMWR

収録するデータの範囲：1996 年以降のデータから

ADVISE は 1995 年からのデータを提供していますが、データ処理の都合により、JAPICDOC には 1995 年のデータは現在のところ含まれません。

更新：毎月 1 回（国内情報と同時）

（医薬文献部門 TEL.03-5466-1823）

2003 年度「JAPIC-Q サービス」,「JAPICDOC」,「ADVISE」, 「医薬品副作用文献速報」の採択雑誌変更について

1. 2003 年度の JAPIC-Q サービスの採択雑誌は、JAPICDOC 採択雑誌（国内）333 誌に準採択雑誌 10 誌（学会報告のみを採択する雑誌）を加えた 343 誌になります。
2. 2003 シリーズの JAPICDOC, ADVISE, 医薬品副作用文献速報の採択雑誌は 348 誌（国内 333 誌, 海外 15 誌）です。海外雑誌 15 誌については前ページの「JAPICDOC」での海外医薬副作用文献情報の提供開始についてのお知らせをご参照下さい。
医薬品副作用文献速報については海外データは含まれません。

< 国内新規採択誌 >

- ・ Clinical Pediatric Endocrinology
- ・ サルコイドーシス / 肉芽腫性疾患
- ・ 北陸神経精神医学雑誌
- ・ 東海産科婦人科学会雑誌
- ・ 消化器心身医学
- ・ 日本産科婦人科学会鹿児島地方部会雑誌
- ・ Geriatrics and Gerontology International
- ・ Digestive Surgery
- ・ Pediatric Surgery International
- ・ Journal of Clinical and Experimental Hematopathology

< 誌名変更 >

- ・ Japanese Journal of Cancer Research → Cancer Science（94 巻 1 号から）
- ・ 癌臨床・生物統計研究会誌 → 臨床研究・生物統計研究会誌（22 巻 1 号から）

<採択から除外する雑誌>

- ・成人病（41 巻 3 号で廃刊となったため）
- ・日本骨代謝学会雑誌（19 巻 3 号で廃刊となったため）
- ・動脈硬化（29 巻 3 号で休刊となったため）
- ・歯科と麻酔（29 巻 3 号で休刊となったため）

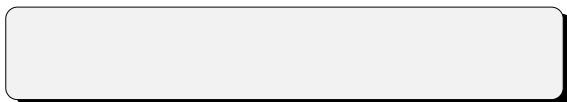
（医薬文献部門 TEL.03-5466-1823）

平成 15 年度「JAPIC-Q サービス」の更新手続きについて

平成 15 年度の JAPIC-Q サービスの更新につきましては、1 月 23 日（木）にユーザーの皆様へ手続きの資料をお送りいたしました。今年度からは、変更のない場合は自動継続とさせていただきます。なお締め切りは 2 月 21 日（金）ですが、変更の場合は早めに手続きをお願いいたします。

（医薬文献部門 JAPIC-Q サービス担当 TEL.03-5466-1821）





「一般薬日本医薬品集」等編集のための調査へのご協力をお願い

毎年、一般薬製造会社の皆様にご協力いただいております、一般薬に関する調査を本年も行います。今回の調査結果は、本年 7 月発行予定の「一般薬日本医薬品集 2004-05」(第 14 版)〔書籍〕編集資料及び「日本医薬品集 DB 2003 年 7 月版」〔CD-ROM〕の一般薬更新データとして利用させていただきます。

調査においては、昨年 3 月の調査以降の、新製品の発売、既収載品の改訂・中止等変更の有無についてご回答ください。なお、変更のない場合であっても、調査資料をご返送くださいますようお願い申し上げます。調査資料の発送は 2 月末を予定しております。年度末の折り、御多忙中とは存じますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(添付文書部門 日本医薬品集編集担当 TEL.03-5466-1825)





◀ 新着資料案内 - 平成 15 年 1 月受け入れ ▶

この情報は JAPIC ホームページ <<http://www.japic.or.jp>>でもご覧頂けます。

お問い合わせは図書館までお願いします。複写をご希望の方は所定の申込用紙でお申し込み下さい。

電話番号 03-5466-1827 Fax No.03-5466-1818

- 図 書 -

1. Compendium Suisse des médicaments 2003 24ed.
Mornat Jurg ed. Documed SA 2002 3224p ¥31,360
スイスの医療用及び OTC 医薬品を収載した医薬品集。薬価も収載されている。
2. Drug topics red book 2002
Cohen, Harold E., ed. Thomson Medical Economics 2002 840p
¥15,000
「Red Book」として親しまれているアメリカの価格表で、医療用と OTC 薬、医薬部外品、医療用具が収載されている。
3. 医薬品相互作用ハンドブック 改訂 2 版
じほう 2002 459p ¥3,800
4. 医薬品と飲食物・サプリメントの相互作用とそのマネジメント
大西憲明編著 フジメディカル出版 2003 116p
5. JAMA 医学文献の読み方
開原成充、浅井泰博 監訳 中山書店 2001 197p ¥2,800
6. 腎疾患治療薬マニュアル 2002-2003
小山哲夫 他編 東京医学社 2002 856p ¥9,000
7. 神と悪魔の薬 - サリドマイド
トレント・ステフェン他著 本間徳子訳 2001 318p ¥1,800
8. 公益法人要覧 平成 15 年版
国政情報センター 2002 621p ¥6,800
9. 更年期の不安とうつ
野澤史朗、渡邊昌祐 編 フジメディカル出版 2003 161p

10. MIMS Annual (中国薬品手冊年刊) 2002/2003 第6版
梁慧芬 編 MediMedia Asia Pte Ltd. 2002 1,116p ¥4,765
中国の医薬品集。
11. New drugs 2002 -2002 年承認医薬品集(明日の新薬抜粋)
テクノミック 2003 121p ¥3,000

- CD-ROM -

1. 日本医薬品集 DB 2003 年 1 月版特価版(2003 年 1 月データ) CD-ROM
日本医薬情報センター・じほう 2003 ¥23,000
2. 日本薬学図書館協議会 要覧 2002 CD-ROM
日本薬学図書館協議会 2003

- 厚生労働省・製薬団体等資料 -

1. 新医薬品等の再審査結果 平成 14 年度(その 3)について
厚生労働省医薬局 2003 3p
2. 新医薬品として承認された医薬品について
厚生労働省医薬局 2003 2p
3. 製薬産業の手引き 2003
日本製薬工業協会広報委員会 編 医薬出版センター 2002 33p
4. Q&A くすり新時代 くすりと人との新しい関係
日本製薬工業協会 2002 45p

- その他 -

1. 生薬管理責任者のためのハンドブック 第二部
日本漢方生薬製剤協会技術委員会 2002 104p
2. 第 12 回国際女性技術者・科学者会議 報告書
ICWES Japan 運営委員会 2002 33p





この冬は例年になく寒い日が多く、その影響もあるのかインフルエンザが猛威を奮っています。

最近気がかりなこととして国内では国民生活に大きな影響があると思われる医療費の 3 割負担の問題があります。各党、政府、関係団体等間でそれぞれ思惑が交差しており、行方が気になるところです。国外ではイラク情勢、北朝鮮の問題も目が離せません。

今年度も残すところ後僅かとなってまいりました。平成 14 年度事業計画に沿って業務は順調に推移しております。ユーザに対しより一層質の高いサービス提供を目指して職員一同努力を続けており、そのため職員研修の強化にも努めています。今回、研修の一環として外部から講師をお招きし次のテーマで内部研修会を実施いたしました。

1 月 31 日（金）には「薬事法改正に伴う生物由来製品の安全確保対策について」厚生労働省医薬局担当官からこれまでの動きを、2 月 3 日（月）には財団法人医療情報システム開発センター理事長 開原 成允 先生から「診療情報の標準化」についてご講演していただき、JAPIC として今後このテーマにどのようにして取り組んでいったら良いのか興味深く勉強させていただきました。

前号でお知らせしました手の平サイズの電子医薬品情報「JAPIC ポケット DI」が今月からご利用いただけることになりました。添付文書情報を手軽に検索できるよう開発されたものです。是非お使いいただけたらと思っています。

JAPIC の今後の行事として予定されているものでは、2 月 28 日（金）には「第 118 回薬事研究会」を九段会館ホールで開催、3 月 6 日（木）～7 日（金）には「JAPIC 医薬情報講座の開催」を長井記念館で開催します。事務局ではこれらの準備に忙しく取り組んでいます。また、3 月に開催予定の理事会、評議員会に向けて平成 14 年度補正予算の作成、平成 15 年度事業計画、収支予算の策定もあり、2 月もあっという間に過ぎていきます。

（M.T）





- ・平成15年2月1日から2月28日の期間に提供しました情報は次の通りです。
- ・出版物がお手許に届いていない場合は、
当センター事務局業務担当（TEL.03-5466-1812）にお問い合わせ下さい。

情 報 提 供 一 覧	発行日等
<出 版 物 等>	
1. 「医薬関連情報」2月号	2月28日
2. 「Regulations View」No.90	2月28日
3. 「JAPIC CONTENTS」No.1540～1543	毎週月曜日
4. 「国内医薬品添付文書情報」No.203	2月24日
5. 「日本医薬文献抄録集」02シリーズ版（10）	2月末予定
6. 「医薬品副作用文献速報」3月号	2月末予定
7. 「JAPIC NEWS」No.227	2月28日
<速報サービス>	
1. 「各国副作用関連情報誌のコンテンツ速報FAXサービス」	随 時
2. 「医薬関連情報 速報FAXサービス」No.374～377	毎 週
3. 「JAPIC-Q（医薬文献・学会情報速報サービス）」	毎 週
4. 「JAPIC Daily Mail（外国政府等の医薬品・医療用具の安全性に関する措置情報サービス）」No.426～444	毎 日

デ ー タ ベ ー ス 一 覧 1 ～ 7 のデータベースのメンテナンス状況はJIPホームページ (http://Infostream.jip.co.jp/)でもご覧いただけます。	更 新 日
<JIP e-InfoStreamから提供>	
1. 「 JAPICDOC速報版（日本医薬文献抄録速報版）」	2月20日
2. 「 JAPICDOC（日本医薬文献抄録）」 関連記事「医薬文献部門だより」参照	2月20日
3. 「 ADVISE（医薬品副作用文献情報）」	2月20日
4. 「 MMPLAN（学会開催予定）」	2月10日
5. 「 SOCIE（医薬関連学会演題情報）」	2月20日
6. 「 NewPINS（添付文書情報）」（月2回更新）	2月 6日 2月18日
7. 「 SHOUNIN（承認品目情報）」	2月 7日
<JST JOISから提供>	
「 JAPICDOC（日本医薬文献抄録）」	2月中旬

当センターが提供する情報を使用する場合は、著作権の問題がありますので、その都度事前に当センター事務局業務担当（TEL.03 - 5466 - 1812）を通じて許諾を得て下さい。

===== 財団法人 日本医薬情報センター
 禁無断転載 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15
 JAPIC NEWS 1984.4.27 No.1 発行 長井記念館 3 階
 毎月 1 回(最終金曜日)発行 TEL 03(5466)1811 FAX 03(5466)1814